

トヨタグループ世界債券ファンド (年2回分配型)

運用報告書(全体版)

第15期(決算日2014年12月22日)

作成対象期間(2014年6月21日～2014年12月22日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
当ファンドは、2014年9月17日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2022年6月20日となりましたので、ご留意下さい。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/債券	
信託期間	2007年7月6日から2022年6月20日(当初、2017年6月20日)までです。	
運用方針	トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)への投資を通じて、主として国内外のトヨタグループ企業*が発行する債券(MTN(ミディアム・ターム・ノート)、普通社債等)に実質的に投資し、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 ※トヨタグループ企業とは、トヨタ自動車株式会社の、国内外の連結子会社および持分法適用関連会社をいいます。	
主な投資対象	トヨタグループ世界債券ファンド(年2回分配型)	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	国内外のトヨタグループ企業が発行する債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	トヨタグループ世界債券ファンド(年2回分配型)	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税金	み騰	期中騰落	期中騰落			
	円	円	%		%	%	%	百万円
11期(2012年12月20日)	8,948	50	11.1	97.02	11.0	95.7	16.2	6,760
12期(2013年6月20日)	9,823	50	10.3	107.32	10.6	95.8	22.3	6,750
13期(2013年12月20日)	10,570	50	8.1	116.66	8.7	91.3	16.5	6,329
14期(2014年6月20日)	10,671	50	1.4	118.04	1.2	96.8	2.5	5,947
15期(2014年12月22日)	11,739	50	10.5	130.57	10.6	97.0	—	6,446

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 参考指数は、シティ世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3-5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。なお、設定日の応当日を100として指数化しています。

* シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券組入比率	債券先物比率
	騰落率	騰落率				
(期首) 2014年6月20日	円	%		%	%	%
	10,671	—	118.04	—	96.8	2.5
6月末	10,681	0.1	118.04	0.0	96.9	—
7月末	10,728	0.5	118.57	0.4	97.7	—
8月末	10,841	1.6	119.68	1.4	97.9	—
9月末	11,063	3.7	122.22	3.5	97.2	—
10月末	11,074	3.8	122.62	3.9	97.2	—
11月末	11,844	11.0	131.37	11.3	97.5	—
(期末) 2014年12月22日	11,789	10.5	130.57	10.6	97.0	—

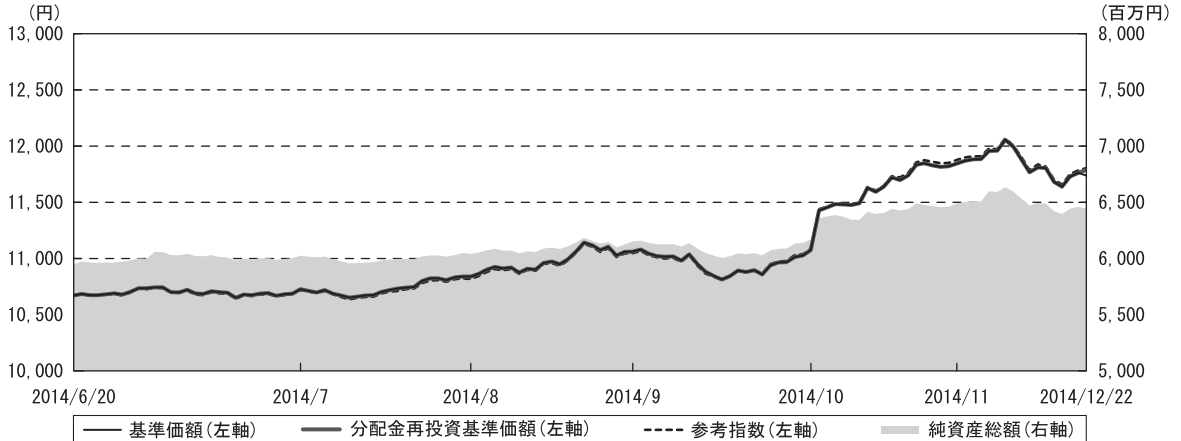
* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



期首：10,671円

期末：11,739円（既払分配金（税込み）：50円）

騰落率：10.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2014年6月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、シティ世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3－5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。作成期首（2014年6月20日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

（上昇要因）保有する債券からの利息収入。

（上昇要因）投資通貨である米ドルやユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドルが対円で上昇したこと。

○投資環境

通貨については、日本銀行が2014年10月末に追加の金融緩和を発表したことから円が対主要通貨で大幅に下落し、投資しているすべての通貨（米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル）が対円で上昇しました。米国では好調な経済環境を背景とした将来の利上げが見込まれることから、米ドルは対円で大幅な上昇となりました。

債券については、原油価格の下落などによって国債利回りは概ね低下（価格は上昇）しました。米国においては、利上げが見込まれることから中期債の利回りは概ね横ばいでの推移となりました。保有するトヨタグループ企業の債券についても、概ね国債と同様の推移となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

<トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド>

組み入れ通貨について

設定時において選定した5カ国の通貨に原則として均等投資いたしました。

組み入れ債券の資産配分について

追加的な資金の流出入に応じてトヨタグループ企業の債券を売買し、債券組入比率を高位に維持しながら、ポートフォリオの債券はすべてトヨタグループ企業の債券としました。

組み入れ債券の信用格付け配分について

期を通じてA A格以上の格付けを持つ債券のみを保有しました。

<トヨタグループ世界債券ファンド（年2回分配型）>

追加的な資金の流出入に応じて、主要投資対象であるトヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの組入を高位に維持し、トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの投資成果を享受するよう努めました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

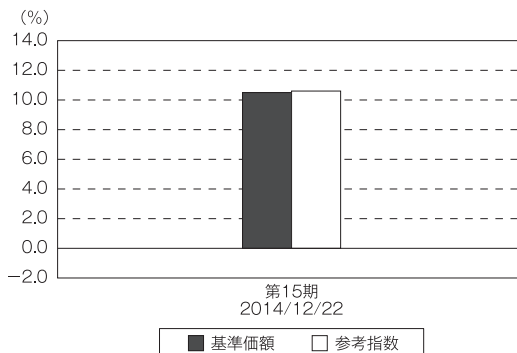
コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が10.6%の上昇となったのに対し、基準価額は10.5%*上昇しました。

*基準価額の騰落率は、期末の分配金（税込み）を考慮して算出したものです。

差異の要因については、トヨタグループ世界債券ファンドのデュレーション（金利感応度）が参考指数に比べて長く、期を通じて金利が概ね低下したことを受けて債券価格の上昇幅が相対的に拡大したことがプラスの寄与となったものの、信託報酬等の効果がマイナスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、シティ世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3～5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。

◎分配金

分配金については、基準価額水準等を勘案し、期末に50円を分配いたしました。

留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項目	第15期
	2014年6月21日～ 2014年12月22日
当期分配金	50
（対基準価額比率）	0.424%
当期の収益	50
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,566

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

<トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド>

引き続きトヨタグループ企業の債券を中心としたポートフォリオ構成とします。投資にあたっては、発行体の信用状況や同一通貨建ての国債とのスプレッド等を考慮します。また、流動性リスクに配慮し、ポートフォリオの一部に国債を組み入れる場合があります。

組入れ通貨については、設定時に選定した5カ国の通貨（米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル）に均等投資します。通貨比率の調整のために為替予約取引を活用します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは3～5年程度を維持します。デュレーション調整のために、債券先物を利用する場合があります。

<トヨタグループ世界債券ファンド（年2回分配型）>

主要投資対象であるトヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの高位組入比率を維持し、トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドの投資成果を享受するよう努めます。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2014年6月21日～2014年12月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 59	% 0.536	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(27)	(0.248)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(30)	(0.272)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	(0)	(0.000)	※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	1	0.007	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.005)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	60	0.543	
期中の平均基準価額は、11,038円です。			

*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年6月21日～2014年12月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド	千口 116,386	千円 150,200	千口 214,109	千円 283,780

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2014年6月21日～2014年12月22日)

利害関係人との取引状況

<トヨタグループ世界債券ファンド（年2回分配型）>

該当事項はございません。

<トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	百万円	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	百万円	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
為替先物取引	3,477	31	0.9	3,534	81	2.3

平均保有割合 79.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2014年12月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド	千口 4,753,749	千口 4,656,026	千円 6,429,972

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2014年12月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド	千円 6,429,972	% 98.8
コール・ローン等、その他	80,790	1.2
投資信託財産総額	6,510,762	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（8,027,227千円）の投資信託財産総額（8,193,181千円）に対する比率は98.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=119.50円、1カナダドル=102.99円、1英ポンド=186.72円、1ユーロ=146.03円、1豪ドル=97.28円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2014年12月22日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	6,510,762,369
コール・ローン等	5,790,227
トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド(評価額)	6,429,972,132
未収入金	75,000,000
未収利息	10
(B) 負債	64,470,772
未払収益分配金	27,457,682
未払解約金	3,927,645
未払信託報酬	33,018,127
その他未払費用	67,318
(C) 純資産総額(A-B)	6,446,291,597
元本	5,491,536,464
次期繰越損益金	954,755,133
(D) 受益権総口数	5,491,536,464口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,739円

(注) 期首元本額5,573百万円、期中追加設定元本額303百万円、期中一部解約元本額386百万円、計算口数当たり純資産額11,739円。

○損益の状況（2014年6月21日～2014年12月22日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	6,881
受取利息	6,881
(B) 有価証券売買損益	632,998,027
売買益	652,693,966
売買損	△ 19,695,939
(C) 信託報酬等	△ 33,085,445
(D) 当期損益金(A+B+C)	599,919,463
(E) 前期繰越損益金	654,535,840
(F) 追加信託差損益金	△ 272,242,488
(配当等相当額)	(181,782,707)
(売買損益相当額)	(△ 454,025,195)
(G) 計(D+E+F)	982,212,815
(H) 収益分配金	△ 27,457,682
次期繰越損益金(G+H)	954,755,133
追加信託差損益金	△ 272,242,488
(配当等相当額)	(182,258,079)
(売買損益相当額)	(△ 454,500,567)
分配準備積立金	1,226,997,621

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2014年6月21日～2014年12月22日）は以下の通りです。

項目	第15期
	2014年6月21日～ 2014年12月22日
a. 配当等収益（経費控除後）	95,639,515円
b. 有価証券売買等損益（経費控除後・繰越欠損金補填後）	504,279,948円
c. 信託約款に定める収益調整金	182,258,079円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	654,535,840円
e. 分配対象収益（a+b+c+d）	1,436,713,382円
f. 分配対象収益（1万口当たり）	2,616円
g. 分配金	27,457,682円
h. 分配金（1万口当たり）	50円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	50円
-----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合
分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合
分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合
分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

- ①信託期間を5年更新し、信託期間終了日を2022年6月20日とする所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2014年9月17日＞
- ②運用報告書（全体版）について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
＜変更適用日：2014年12月1日＞

トヨタグループ世界債券ファンド マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日2014年12月22日）

作成対象期間（2013年12月21日～2014年12月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として国内外のトヨタグループ企業*が発行する債券（MTN（ミディアム・ターム・ノート）、普通社債等）に投資し、インカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。投資を行う債券は、原則としてA格以上の格付けを有する信用度の高いものとします。（格付けのない場合には、委託者が同等の信用度を有すると判断したものを含みます。） ※トヨタグループ企業とは、トヨタ自動車株式会社、国内外の連結子会社および持分法適用関連会社をいいます。
主な投資対象	国内外のトヨタグループ企業が発行する債券を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	債先物比率	純資産額
	円	騰落率	%	騰落率			
4期(2010年12月20日)	8,607	△ 2.2	84.81	△ 3.1	94.9	31.4	10,585
5期(2011年12月20日)	8,598	△ 0.1	84.27	△ 0.6	95.2	25.5	9,509
6期(2012年12月20日)	10,119	17.7	97.02	15.1	96.6	16.4	9,899
7期(2013年12月20日)	12,198	20.5	116.66	20.2	91.7	16.6	8,114
8期(2014年12月22日)	13,810	13.2	130.57	11.9	97.3	—	8,110

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数は、シティ世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3－5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。なお、設定日の応当日を100として指数化しています。
* シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など指数に関するすべての権利は、Citigroup Index LLCが有しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

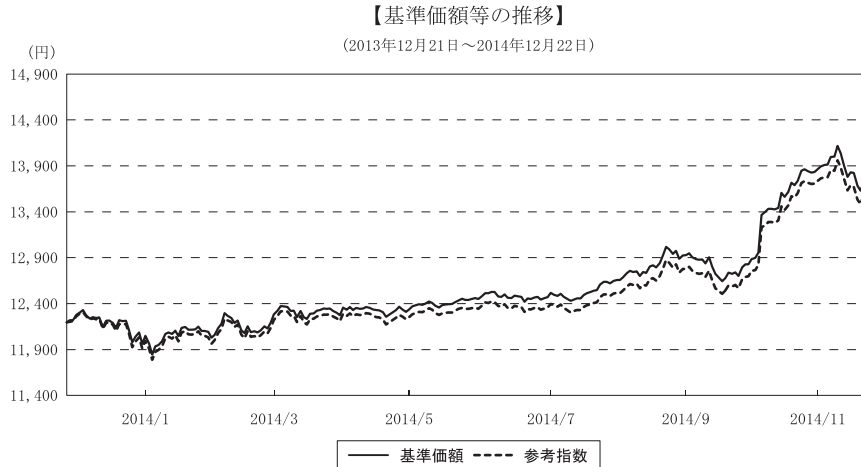
年月日	基準価額		参考指数		債組入比率	債先物比率
	円	騰落率	%	騰落率		
(期首) 2013年12月20日	12,198	—	116.66	—	91.7	16.6
12月末	12,329	1.1	117.71	0.9	94.0	17.0
2014年1月末	12,051	△ 1.2	114.73	△ 1.7	94.7	17.3
2月末	12,094	△ 0.9	115.07	△ 1.4	95.2	19.0
3月末	12,285	0.7	116.90	0.2	95.1	17.1
4月末	12,357	1.3	117.55	0.8	95.9	17.3
5月末	12,336	1.1	117.17	0.4	95.8	5.5
6月末	12,450	2.1	118.04	1.2	97.7	—
7月末	12,516	2.6	118.57	1.6	97.8	—
8月末	12,659	3.8	119.68	2.6	97.9	—
9月末	12,929	6.0	122.22	4.8	97.2	—
10月末	12,954	6.2	122.62	5.1	97.1	—
11月末	13,863	13.6	131.37	12.6	97.2	—
(期末) 2014年12月22日	13,810	13.2	130.57	11.9	97.3	—

* 騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、シティ世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス(3-5年)を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。作成期首(2013年12月20日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇要因) 保有する債券からの利息収入。

(上昇要因) 投資通貨である米ドルやユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドルが対円で上昇したこと。

○当ファンドのポートフォリオ

組み入れ通貨について

設定時において選定した5カ国の通貨に原則として均等投資いたしました。

組み入れ債券の資産配分について

追加的な資金の流出入に応じてトヨタグループ企業の債券を売買し、債券組入比率を高位に維持しながら、ポートフォリオの債券はすべてトヨタグループ企業の債券としました。

組み入れ債券の信用格付け配分について

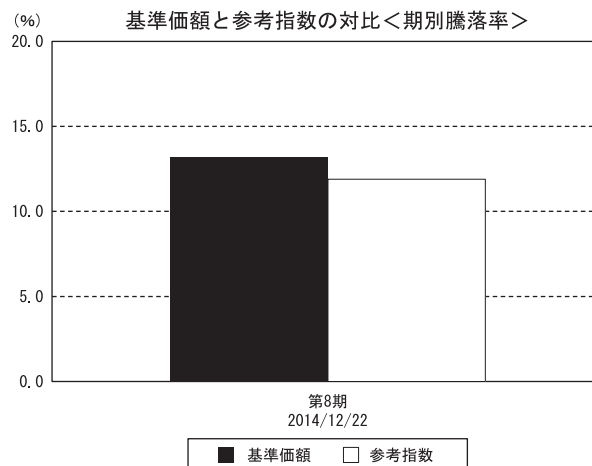
当作成期を通じてAA格以上の格付けを持つ債券のみを保有しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
以下のコメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数が11.9%の上昇となったのに対し、基準価額は13.2%上昇しました。

トヨタグループ世界債券ファンドのデュレーション（金利感応度）が参考指数に比べて長く、期を通じて金利が概ね低下したことを受けて債券価格の上昇幅が相対的に拡大したことが差異の要因となりました。



(注) 参考指数は、シティ世界国債インデックスのうち、アメリカ、EMU圏、イギリス、オーストラリア、カナダの5つの国または地域の残存期間別インデックス（3～5年）を20%ずつ合成した指数をベースに、基準価額への反映を考慮し、前営業日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算したものです。

◎今後の運用方針

引き続きトヨタグループ企業の債券を中心としたポートフォリオ構成とします。投資にあたっては、発行体の信用状況や同一通貨建ての国債とのスプレッド等を考慮します。また、流動性リスクに配慮し、ポートフォリオの一部に国債を組み入れる場合があります。

組入れ通貨については、設定時に選定した5カ国の通貨（米ドル、ユーロ、英ポンド、カナダドル、豪ドル）に均等投資します。通貨比率の調整のために為替予約取引を活用します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは3～5年程度を維持します。デュレーション調整のために、債券先物を利用する場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○1万口当たりの費用明細

(2013年12月21日～2014年12月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (先物・オプション)	円 0 (0)	% 0.002 (0.002)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.011 (0.010) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.013	
期中の平均基準価額は、12,568円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2013年12月21日～2014年12月22日)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル 4,711	千米ドル 5,638
	カナダ	社債券（投資法人債券を含む）	千カナダドル 11,127	千カナダドル 12,231
	イギリス	社債券（投資法人債券を含む）	千英ポンド —	千英ポンド 1,080
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	2,406	—
国	オーストラリア	社債券（投資法人債券を含む）	千豪ドル 17,114	千豪ドル 18,736

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

先物取引の種類別取引状況

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
外	債券先物取引	百万円 1,486	百万円 2,886	百万円 —	百万円 —

*単位未満は切り捨て。

*外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2013年12月21日～2014年12月22日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	9,334	101	1.1	9,406	81	0.9
為替直物取引	356	—	—	1,215	76	6.3

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社、野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2014年12月22日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 12,800	千米ドル 13,412	千円 1,602,804	% 19.8	% —	% 12.6	% 5.3	% 1.8
カナダ	千カナダドル 15,400	千カナダドル 15,630	1,609,771	19.8	—	—	19.8	—
イギリス	千英ポンド 8,500	千英ポンド 9,158	1,710,121	21.1	—	—	21.1	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
アメリカ	8,756	9,603	1,402,383	17.3	—	12.6	—	4.7
オーストラリア	千豪ドル 15,500	千豪ドル 16,098	1,566,076	19.3	—	—	19.3	—
合 計	—	—	7,891,157	97.3	—	25.2	65.6	6.5

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 一印は組み入れなし。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	2.8	1,200	1,228	146,800	2016/1/11
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	2.1	900	904	108,042	2019/1/17
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	2.125	2,700	2,703	323,038	2019/7/18
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	4.5	4,000	4,412	527,268	2020/6/17
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.4	1,000	1,047	125,143	2021/9/15
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	3.3	3,000	3,117	372,511	2022/1/12
小	計					1,602,804	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA CREDIT CANADA INC	2.45	4,400	4,467	460,098	2017/2/27
		TOYOTA CREDIT CANADA INC	2.75	4,000	4,097	422,028	2018/7/18
		TOYOTA CREDIT CANADA INC	2.8	2,000	2,053	211,459	2018/11/21
		TOYOTA CREDIT CANADA INC	2.25	5,000	5,012	516,185	2019/5/23
小	計					1,609,771	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	4.0	8,500	9,158	1,710,121	2017/12/7
小	計					1,710,121	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
アメリカ	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	6.625	2,456	2,629	384,042	2016/2/3
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	1.8	500	532	77,797	2020/7/23
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	1.0	300	305	44,612	2021/9/10
		TOYOTA MOTOR CREDIT CORP	2.375	5,500	6,135	895,930	2023/2/1
小	計					1,402,383	
オーストラリア				千豪ドル	千豪ドル		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	TOYOTA FINANCE AUSTRALIA	4.25	2,000	2,062	200,659	2018/2/26
		TOYOTA FINANCE AUSTRALIA	4.25	13,500	14,035	1,365,417	2019/5/15
小	計					1,566,076	
合	計					7,891,157	

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2014年12月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	7,891,157	96.3
コール・ローン等、その他	302,024	3.7
投資信託財産総額	8,193,181	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(8,027,227千円)の投資信託財産総額(8,193,181千円)に対する比率は98.0%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=119.50円、1カナダドル=102.99円、1英ポンド=186.72円、1ユーロ=146.03円、1豪ドル=97.28円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2014年12月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,568,060,038
コール・ローン等	180,235,058
公社債(評価額)	7,891,157,947
未収入金	424,488,264
未収利息	69,884,632
前払費用	2,294,137
(B) 負債	457,138,068
未払金	378,038,068
未払解約金	79,100,000
(C) 純資産総額(A-B)	8,110,921,970
元本	5,873,077,797
次期繰越損益金	2,237,844,173
(D) 受益権総口数	5,873,077,797口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,810円

(注) 期首元本額6,652百万円、期中追加設定元本額165百万円、期中一部解約元本額943百万円、計算口数当たり純資産額13,810円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
・トヨタグループ世界債券ファンド(毎月分配型)

1,217百万円

・トヨタグループ世界債券ファンド(年2回分配型)

4,656百万円

○損益の状況 (2013年12月21日～2014年12月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	283,239,831
受取利息	283,239,831
(B) 有価証券売買損益	637,728,822
売買益	782,830,444
売買損	△ 145,101,622
(C) 先物取引等取引損益	51,058,295
取引益	51,058,295
(D) 保管費用等	△ 826,766
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	971,200,182
(F) 前期繰越損益金	1,462,204,620
(G) 追加信託差損益金	48,395,979
(H) 解約差損益金	△ 243,956,608
(I) 計(E+F+G+H)	2,237,844,173
次期繰越損益金(I)	2,237,844,173

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようお願いいたします。

(2014年12月22日現在)

年 月	日
2014年 12月	25、26
2015年 1月	19
2月	16
3月	—
4月	3、6
5月	25
6月	—
7月	—
8月	31
9月	7
10月	—
11月	11、26
12月	25、28

※2015年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご留意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。